

当院おすすめ検査

自宅でかんたん！

腸内フローラ検査

してみませんか？



生活習慣改善



免疫機能を整える



肌の調子を整える



こんな方におすすめ！

ダイエットしたい方



おなかの悩み



ストレスに対する悩み



検査していただいた方には...

腸活アドバイスをご提供



検査レポート



結果解説
腸活ガイド



腸活
コールセンター

腸活専門
栄養士



検査結果をもとに生活習慣の改善をしてみませんか？

検査レポート

あなたの腸内フローラの状態をレポートにします

エクオール産生菌や
やせ菌を解析

5段階で
スコア判定

PART 1 腸内フローラバランス(概要)について

腸内フローラは、約1000種類以上の細菌種から構成されています。まずは、腸内フローラ全体のバランスに関する健康指標を測定しましょう。

腸内フローラ(総合)判定

腸内フローラを構成する菌のバランスをもとに、A-Eの5段階で腸内環境を評価しています。D、Fを除く場合は、バランス判定(ディスプレイスコア)が送られるため、科学的な生活習慣改善の目安が必要です。理想的な腸内環境を目指すよう、A判定を目指しましょう。

E 判定 バランスが悪い (ディスプレイスコアの低い)

コメント: 有用菌が益菌的に少なく、バランスが崩れた腸内フローラです。生活習慣を改善して、3ヶ月~半年程度を継続的に検査をおすすめします。

前回: 0 前々回: -

疾患別リスク判定

機能性下痢 (IBS)

コメント: 腸内フローラのバランスから見た、機能性下痢 (IBS) のリスクは高いと考えられます。引き続くp.5のように入生活習慣を改善しましょう。

前回: 0 前々回: -

心血管系ディスプレイスコア

コメント: 高血圧の人に似た腸内フローラの傾向があるため、注意が必要となります。p.5のアドバイス参考に、今後生活習慣を改善していきましょう。

前回: 0 前々回: -

糖代謝系ディスプレイスコア

コメント: 腸内フローラのバランスから見た、糖尿病のリスクは中程度です。p.5のアドバイス参考に、日頃の生活習慣を

個別注目菌の割合

ここでは、「有用菌」(腸内に十分存在していることが望ましい菌)や、「悪玉菌」(腸内には多すぎないほうが望ましい菌)について、それぞれの個別割合の結果を示しています。なお、各菌の結果はすべて、今回検査されたあなたが全国総体に対しての割合で示しています。

菌種	検査項目	菌内割合(%)	結果(割合)	標準範囲
有用菌	酪酸産生菌	ブチリバクテリウム、乳酸桿菌科	3.31%	1.96% ~ 15.94%
	酢酸産生菌	ゼフィロバクテリウム、バクテロイデス目	1.16%	0.15% ~ 8.80%
	プロピオン菌	アセトバクテリウム	0.02%	0.01% ~ 2.65%
	エクオール産生菌	アシドヘテロスピラ、スチロバクテリウム	0.01%	0.00% ~ 0.41%
	やせ菌	クリスタルセルラ	0.00%	0.00% ~ 0.74%
	アクティブ菌	ブチリバクテリウム、ロストスピラ、コクシバクテリウム、キネドバクテリウム	5.41%	0.44% ~ 4.45%

生活習慣病
リスクを判定

生活が乱れがちな方に
多い菌もわかる

検査方法



1 自宅で採便



2 ポスト投函



3 検査レポート返送

よくあるご質問

Q 疾患についてわかりますか？
A 疾患についてはわかりません。ただ、腸内フローラは様々な疾患との関係性があると言われており、腸内フローラを整えておくことは重要です。

Q 検査は一度だけでいいですか？
A 年に一度の検査をおすすめします。腸内フローラは食事や運動で変えることができます。

Q 結果が悪かった場合は？
A 具体的な改善アドバイスや、解説ガイドを提供します。また、管理栄養士による腸活コールセンターもご利用ください。

お問い合わせ先

検査費用

医療法人新松田会 **愛宕病院**
〒780-0051 高知市愛宕町1丁目1-13
Tel : 088-823-3301 (健診担当)

15,400円(税込)